

緑化だより

No.59 平成23年4月号



リキュウバイ 平成21年4月26日撮影

- きのこの味“酸っぱいきのこ
- サクラのあれこれ
- 野鳥の世界

- 季節の花
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

きのこの味



酸っぱいきのこ(1) カンゾウタケ(肝臓茸)

きのこの名前を判別する時、その判断材料の一つになるものとして“味”があります。生のきのこを少しだけかじってみるのです。味が無いものが多いのですが、中には辛いとか苦いとか酸っぱいものもあります。

最初は酸っぱい味のカンゾウタケをとりあげます。

カンゾウタケはシイなどのブナ科樹木の地際から5～6月に発生してきます。食用になります。

生で食べられるきのこは少ないのですが、カンゾウタケはその中の一つです。その色・形は動物の肝臓にそっくりで、切ると赤い血の様な液を出し、脂肪をちりばめた上等の牛肉にそっくりなのでビフテキタケという別名もあるくらいです。

欧米では Beefsteak Mushroom とか Poor Man's Beefsteak (貧乏人のビーフステーキ)とも呼ばれていて、生のままサラダにして食べたり、バターで炒めて食べられているようです。



サクラのあれこれ(1)

4月は緑化センターのサクラが見頃です。

3月半ば過ぎると、サクラの開花状況が伝えられますが、本州では、ソメイヨシノの標準木を基準に開花予想が発表されます。

ソメイヨシノは、江戸時代、江戸染井村の植木屋によって売り出されたのが最初で、それが全国に広まりました。

エドヒガンとオオシマザクラの交配から生まれたというのが定説で、その元を韓国済州島まで行って探したそうですが、結局交配から生まれたのではないかと なっています。

増殖は、すべて接木で行なわれ、どのソメイヨシノも同じ遺伝子をもつクローンです。広島ソメイヨシノも青森ソメイヨシノも、ワシントンソメイヨシノもすべて同じ形質を受け継いでいます。

葉より先に開く花や散り際によさから人気があり、あっという間に日本全国に広まりました。

サクラの名所といえば、ほとんどがソメイヨシノです。日本にあるサクラの8割を占めるといわれています。ただ、病害虫に侵されやすく、手入れをしないと50～60年で枯れるのが普通です。

しかし、手入れ次第で100年を超えるソメイヨシノも見られるようになり、現在ではソメイヨシノ60年説は揺らいでいます。

土師ダム、宮島のサクラを守ろうと立ち上がった地元の人々とともに、より美しいサクラの名所にするための、お手伝いをしているところです。



エドヒガン

野鳥の世界

エナガ

冬の枯れ木の中で昆虫(メジロ、ヤマガラ、コゲラ、シジュウカラなど)の小鳥と一緒に採食活動します。多くの個体が集まることで、天敵に対して集団で警戒し、集団で安全確保するのです。

エナガは小鳥の中では一番早く巣作りを始めます。雌雄が共同しての作業です。

冬枯れのクヌギやコナラの幹、スギやヒサカキの繁みを利用します。高さは問題ではないようです。

外装には、コケ(苔類)をクモの糸で紡いだようにして、表面にウメノキゴケをつけて仕上げます。内装は、獣の毛や鳥の産毛など保温性の良い柔らかいものを用います。

スズメよりも小さなエナガが忙しく巣材を運び、クチバシで巣型を作り、頬を押しあて、足で押して丸みをつける仕草は見ていて感心します。

エナガはヒナの数が多く、小さな巣に 8~10 羽程度も育つために巣立ち前になると、巣全体がゆれる様子が見えるほどです。

巣立ったヒナは近くの枝に止まったり、地上に落ちたりで親鳥は大変です。それを餌で誘って横枝に集めると、横一列に並びます。

餌をもった親鳥が帰ってくると、ヒナは重なるように競い合っ
て餌を求めます。それも 2、3 日ほどで分散し、競争はなくなり、それぞれの生活が始まります。別れても家族の絆は強く、次の春まで行動を共にしているようです。

東広島地域では「マツムシ」と呼ばれ親しまれていたようです。マツの林で「ツリリ・ジュルリ・チーチーチー」など変化に富んだ鳴き声と枝先で逆さになって採食したり、活発な活動振りが虫のように見えることからついた名前のようにです。



餌を求めるヒナ鳥

季節の花

4月に緑化センターで見られる花を紹介します。寒さから開放される頃にはたくさんの花が見られます。

アセビが白、薄いピンクや濃いピンクの花をつけ、リキュウバイ・コブシ・キリシマツツジ・コバノミツバツツジ・ザイフリボク・トサミズキ・ヒュウガミズキ・ハナミズキ・サンシュユ・メハジキ・ユキヤナギ・クロモジが咲きます。サクラと同じ時期に、ハナノキも咲きます。少し遅れてカツラが全樹を真っ赤にします。他にも、オキナグサ、エヒメアヤメなど盛りだくさんです。山の中ではタムシバが白い花を咲かせます。各種サクラも次々と花を咲かせ春到来です。下旬になりシャクナゲ、ヒトツバタゴ、ハンカチノキが咲く頃、春のゴールデンウィークの始まりです。



オキナグサ



タムシバ

研修会のご案内

- 4月8日(金) 『春の写真教室』 10:00～12:00 学習室集合 カメラ持参
花を上手に撮影するコツなどを聞いた後、園内で撮影会を行います。
お気に入りの写真を“春の写真コンクール”に応募しましょう！
応募受付 4/1(金)～6/19(日) 講師:二科会会友 宗岡 泰昭 先生
- 4月14日(木) 『4月の自然探勝』 10:00～12:00 管理事務所前集合
園内を歩きながら、植物観察を行います。桜など春の花を満喫しませんか？
講師:環境省稀少野生動植物推進委員 吉野 由紀夫 先生
- 4月21日(木) 『山菜料理教室』 10:00～12:00 学習室集合(要予約)
山菜について学習し、試食会を行います。春を味わってみませんか。
講師:ひろしま可憐花会 井川 宏子 先生
- 4月23日(土) 『愉快的植物雑学と八重桜めぐり』 10:00～12:00 学習室集合
植物についての雑学を学んだ後、野外にて八重桜を中心に植物観察を行います。
講師:森林インストラクター 長井 稔 先生

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ さくら祭り 4月1日(木)～29日(祝・木)

早咲きから八重咲きまで、期間中色々なサクラを楽しむ事ができます。
期間中、クイズラリー(毎日・景品あり)を予定しています。

◎ “さくら祭り”イベント 4月17日(日) 10:00～15:00 レストハウス前 にて開催。サクラガイドツアー・お茶席などでお楽しみ下さい。

◎ みどりの集い 4月29日(祝) 10時～15時:多目的広場ほか お子様から大人まで、緑に触れながら、楽しめるイベントが盛り沢 山です。皆様のお越しをお待ちしています。

◎ 展示会のお知らせ (展示場所:レストハウス)

○ フランス刺繍同好会作品展 3月30日(水)～5月8日(日)

フランス刺繍の小物作品を展示します。

○ 緑化センターのサクラ写真展 3月30日(水)～4月24日(日)

緑化センター内で見られるサクラの写真を展示します。お花見とともにお楽しみ下さい。

◎ 臨時開園のお知らせ

4月、5月は毎日開園します。サクラや春の花をお楽しみ下さい。

◎ 緑化センターオリジナルカレンダー配布について

平成23年度オリジナルカレンダー(H.23年4月～H.24年3月)を、レストハウス・管理事務所にて無料で配布しています。数に限りがありますので、お早めどうぞ。



H.22年のみどりの集い

表紙：リキュウバイ(利休梅) バラ科ヤナギザクラ属
中国原産で明治時代に渡来。4月～5月初に白い花をつける。
庭木、花材として利用。